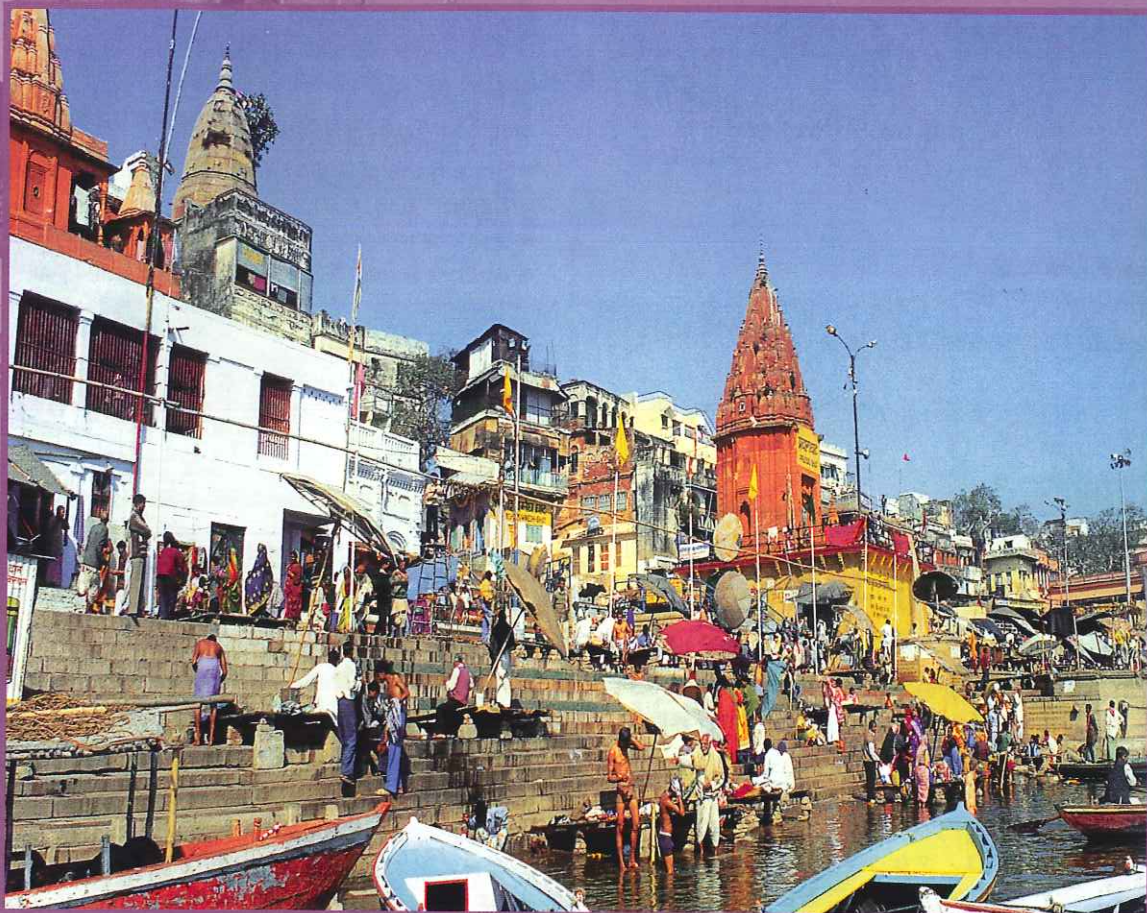


インド
INDIA

バラナシ

市内地図
VARANASI

Incredible India



インド政府観光局
Indiatourism, Tokyo

由緒ある古代都市バラナシは、ヒンドゥー教徒の世界の中心です。崇高な巡礼地、そして信仰の小宇宙の中心地として、無数の見どころがある荘厳な町です。何千人もの巡礼者が、インド各地だけでなく世界中からバラナシに集まります。過去と現在、永遠と連続性が隣り合せて生きている、独特の町です。

バラナシは、インドで最も神聖な河、ガンジス河の蛇行地点の外側の北岸に始まり、多種多様なインド建造物の荘厳なパノラマを形作っています。

聖なる河と町の独特の関係は、「聖なる光の地」バラナシの本質です。ガンジス河は、天国から流れ出て人類の世俗的な罪を洗い流すと信じられています。したがって、バラナシにいることは、この世界の外側を経験すること、つまり、自己を発見し、永遠の命を探し求めて現在と過去を旅することなのです。

歴史学者によれば、バラナシの町は、紀元前10世紀頃に建設されました。ガンジス河の二つの支流、つまり北に向かうバルナ川と南に向かうアッシー川に挟まれたバラナシは、永遠の命を得ました。バラナシは、仏典「ヴァマナ・プラナ」のような聖典や叙事詩「マハーバーラタ」にも出てきます。

バラナシの生活と活動は、聖なる河の周りで営まれています。ガンジス河の河岸の生活は、夜明け前に始まります。男女、子供を含む何千もの巡礼者が川に降りてきて日の出を待ちます。グループで来る人もあれば1人で来る人もいますが、その誰もが救済という強い思想に心を奪われ、聖なる川に浸ることによって自分の現世の苦し

みが浄化され、罪が洗い清められる瞬間を待っています。徐々に日が昇り、川にかかるもやがゆっくり晴れると、世界中のどの都市にもない神々しさを持つ荘厳な建物群が姿を現わします。日の出直後、川辺のガートがある大きな円形の場所は、突然活動を始めます。ヤシの葉でできた大きな傘の下では、巡礼者が所定の位置につきます。朝の張り詰めた全体論的な雰囲気の中、由緒あるブラミン（パンダとして知られる）は、聖典の一節を朗読し、僧侶は、神への崇拝の印に聖なる灰を巡礼者に振りかけます。船頭、花売り、砂糖菓子や小装身具を売る売子、甲高い声、聖なる雄牛と雌牛が周りを回っています。バラナシは、人に人生を顧みさせ、宇宙と死の前での現世的な富の無意味さを考えさせます。水辺に沿って、ガートがあります。その中で最も神聖なガートはマニカルニカで、これはシヴァ神の妃である女神パールヴァティーにまつわるものです。主な寺院は、シヴァ神の住まいであるヴィシュワナート寺院で、この宇宙の神であるブラフマー、ヴィシュヌ、マヘシュワラの3人の神の中で最も重要なものです。この寺院の回りでは、バラナシとかつてカーシーと呼ばれていたベナレスの中心部の宗教的な独自性が発達しました。

バラナシは、何千もの神々の故郷であるだけではありません。ここでは、一年を通じてほぼ毎日、何らかのお祝いが催されています。実際、バラナシは、途切れることのない色、匂い、音で、神聖かつ現世的な生命の原理を祝っています。



バラナシ VARANASI

● 主な見どころ

ガート

バラナシを流れるガンジス河の川岸はパピリオンや城、寺院やテラスで高くなっており、ガートまで石段が延々と続いています。

河岸

夜明けには、聖なるガンジス河に腰まで浸かった巡礼者達が沐浴をし、日の出に熱心に祈りを捧げています。川岸（ガート）で信者達が行うこのような儀式は、興味深い光景です。夜明けと夕暮れ時に、ガンジス河でボートに乗って、毎日行われるこのような儀式を眺めてください。

ヴィシュワナート寺院

シヴァ神を祭ったこの寺院は、バラナシで最も神聖な寺院です。最初の寺院はムガル皇帝アウラングゼーブによって破壊されましたが、後の18世紀にインドールのラニ・アハリーヤパーイーによって再建されました。ドームの金鍍金は、19世紀にパンジャブの藩王ランジット・シンが施したものです。外国人は中に入れません。

トゥルシー・マナス寺院

白の大理石で建てられたこの独特の寺院の壁面には、神話ラーマーヤナのエピソードが彫られています。寺院の周りにうまく配置された庭が寺院の美しさをさらに引き立てています。



ドゥルガー寺院

シヴァ神の妃である女神ドゥルガーを祭った寺院で一見の価値があります。

バーラト・マター寺院

この寺院は、マハトマ・ガンジーが創始した寺院で、大理石を彫って作ったインドの起伏地図の中でも最も完全な形のもを所蔵しています。

ベナレス・ヒンドゥー大学

パンディット・モーハン・マラーヴィーヤによって設立されたこの大学は、アジア最大の全寮制の大学です。大学キャンパスの中にあるヴィシュワナート寺院と博物館は、一見の価値があります。

電話：311833

サールナート

バラナシから10キロ程のところにあるこの伝説の地は、ブッダが、仏教の教義を説く彼の弟子に向かって最初の説教をしたという、偉大な過去の証です。また、ここには、紀元前3世紀にアショカ王が設立した、

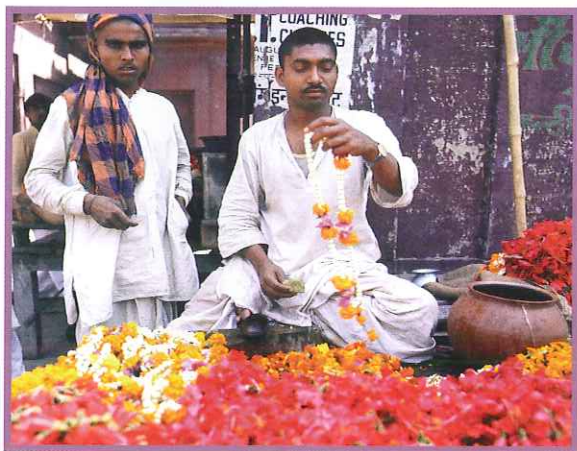
公共の建物や仏舎利塔、僧院、石柱に刻まれた法勅の遺跡があります。サルナートの遺跡や考古学博物館の美術品コレクションは、サルナートがかつて偉大な町であったことを表わしています。遺跡は、日の出から日没まで見学できます。

ラムナガール城・博物館 (16キロ)

ラムナガールからガンジス河を渡ったところにあるカーシー・ナレーシュ(バラナシの前マハラジャ)の住居には、籠、衣装、刀、サーベル等を展示する博物館があります。また、ラムナガールのダセラの祝いは、興味深い行事です。

その他の見どころ

- マン・マンディール・ガートにあるラジャ・ジャイ・シン展望台
- ガンジス河沿いの様々な路地
- アンナブルナ寺院
- アナンド・マヤー・マト
- カール・バイラブ寺院
- バトゥク・バイラブ寺院
- ネパール寺院
- B.H.U. (ベナレス・ヒンドゥー大学) 近くのグル・ラビダス・マンディール
- カビール・ジャンマシュタリ・ラハルタラ



● その他の観光場所

チュナール

カイル丘陵の北端の見晴らしのきく地点には、チュナールの素晴らしい砂岩でできた銃眼付きの胸壁があります。ここからガンジス河が北に蛇行して、22キロ先のバラナシまで続きます。この地の最初の支配は、紀元前56年のウジャインのヴィクラマディヤまで遡ります。チュナールの砂岩は何世紀にもわたって使われてきましたが、最も有名なのは、光沢を保って寿命を伸ばすためによく磨かれた、アショカ王の柱です。砂岩は、今でも切り出されているため、周りの丘陵はところどころ荒れています。数多くのムガール城壁によって守られている難攻不落の要塞が川の下に見え、乾期の間は銀色の美しい砂浜がそれを美しく飾っています。日没は素晴らしい光景です。アクバルが1575年に要塞を攻撃してから英国が176年に占領するまでの間は、アバドの太守がここを支配しました。

ジョンプール

バラナシの北西65キロの町ジョンプールは、デリー・スルタネートの東側を護衛するために1360年、フェローズ・シャーが建設した町です。ジョンプールを横切るゴームティー川には、16世紀に建設された巨大なアクバル橋がかかっています。アフガニスタン人の建築家が設計したこの石橋の15のアーチは、洪水や地震に耐えています。その南端にある象と取っ組み合うライオンの大きな彫刻は、この地方のマイルストーンとしての役割も果たしています。

ダメーク・ストゥーパ

この34メートルの高さの仏舎利塔は、ここの中心的な建物で、ブッダがその有名な説教をした場所と言われています。現在の形になったのは紀元500年頃ですが、おそらく何度も建て替えられています。仏舎利塔の幾何学模様と花模様は、グプタ時代の典型的なものです。出土品は、紀元前200年前後のマウリ

ヤ時代の煉瓦造りの建物であることを示しています。初めは第二の仏舎利塔であるダルマラージカ・ストウパでしたが、19世紀の宝物探検家によってがれきの山と化しました。

考古学博物館

この素晴らしい考古学博物館の主な見どころは、アショカの支柱の非常に優れた柱頭です。これには、アショカのシンボルである背中合わせの4頭のライオンがついています。これは、現代インドの国の象徴として採用されています。他には、サールナート、マウリヤン、クシャナ、グプタ、それ以降の時代を含む各時代の彫像や彫刻があります。その中に、サールナートで発見された最古のブツダ像、5～6世紀に作られた様々なポーズのブツダ像、9～12世紀のサラスヴァティー、ガネーシャ、ヴィシュヌといったヒンドゥー教の神々の彫像があります。博物館の開館時間は、午前10時～午後5時。金曜は休館。

電話：385002

ラムナガール城 博物館

開館時間は、9時～17時。電話：332322、43023

昼休み午後12～2時。

バラット・カラ・バワン

— ベナレス・ヒンドゥー大学

開館時間は、夏：8時～12時、冬：9時30分～16時30分。

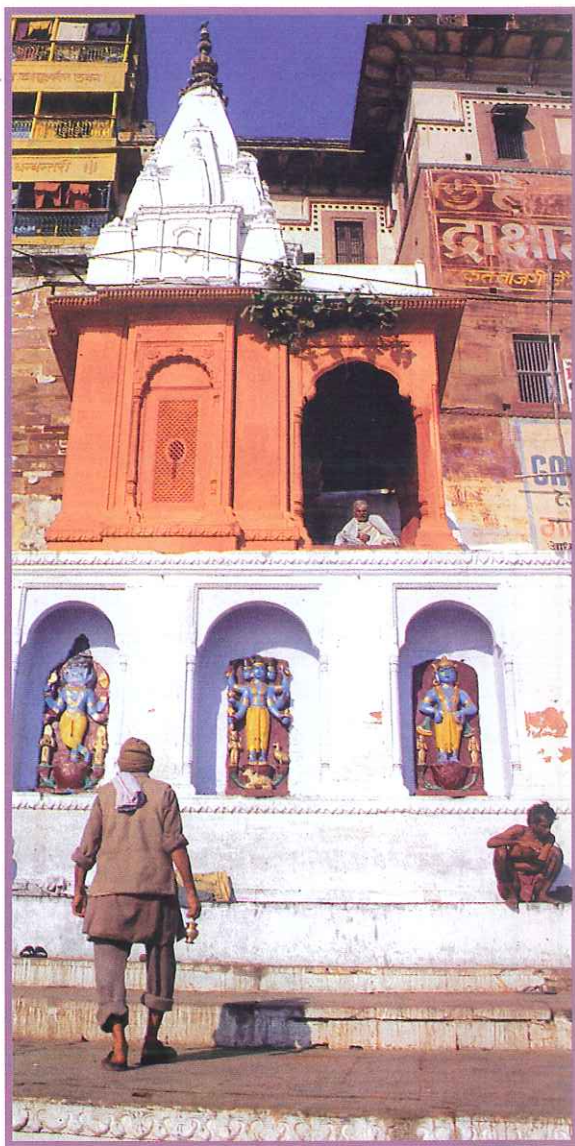
日曜と大学の休日は休館

A.B.C.美術館、プラブ・アスタ

(トゥルスイー・マナース寺院の反対側) ドゥルガクンド。絵画を中心とした現代美術の展覧会を開催。冬期(10月～3月)のみ開館。開館時間：午後3時～7時。

その他の寺院とディアパーク

現代のタイ、中国、チベット、ビルマ、日本の僧院の現代寺院を訪れることもできます。ムルガンダ・クティ・ヴィハールの北にはディアパークがあります。



アクセスと交通

飛行機

バラナシはインド国内線(インディアン・エアライン)のいくつかの航路に入っており、例えば、デリー／アグラ／カジュラホ／バラナシという人気のある町を、数社の国内線が毎日往復しています。また、ラクノウ、ジャイプール、ブバネシュワールへの便の他、カトマンズ行の便も毎日あります。

●インディアン・エアラインズ

ババトプール空港 電話：2622090

オフィス(Hotel de Parisの近く) Cannt.

電話：2343746、2345959

営業時間：10～13時、14時～17時

●エアインディア 電話：2509195、2502547

●サハラ・インディア 電話：2343094

●ジェット・エアウェイズ 電話：2511444

●エアポートシティバス：毎日2便運行。

インディアン・エアライン・オフィス、政府観光局経由。

料金：片道35ルピー

鉄道

バラナシには、カーシー、シティ、バラナシ・ジャンクション(バラナシ・カントンメントとも呼ばれる)という3つの駅があります。主要駅はバラナシ・ジャンクションで、ここでは予約がコンピュータ化されています。バラナシとデリーまたはカルカッタを直接結ぶ列車は数多くありませんが、デリー・カルカッタ間を結ぶ列車のほとんどは、バラナシの18キロ南にあるムガール・サライを通ります。ここからはバスまたは相乗りのリクシャーで約45分です。

バラナシ・ジャンクション駅からデリーまでは特急で13～16時間、カルカッタまでは13時間です。ボンベイまでは28時間、マドラスまでは39時間、アラハバードまでは3時間、パトナまでは4時間30分、ラクノウまでは5時間です。

●バラナシ・ジャンクション(カントンメント)駅での鉄道の予約/電話：131、135 列車の情報/電話：131 営業時間：8時、14時30分～20時

バス

主要駅バラナシ・ジャンクションの向いにあるバス停からは、ジョンプール(2時間)、アラハバード(3時間30分)、ラクノウ(9時間)、ファイザバード(7時間)、ゴラクプール(6時間30分)行のバスが頻繁に出ています。

市内交通

ババトプール空港はバラナシから22キロのところであり、インディアン・エアラインのオフィスからカントンメント地区のホテルを経由して空港に向かうバスが運行されています。市内と郊外への移動には、市内のあらゆる所でタクシーを利用できます。ゴドゥリアはミッドタウンのバス停で、ガートから歩いてすぐです。ベナレス・ヒन्दゥー大学の最寄りのバス停はランカです。オート・リクシャーとテンポー(大型相乗りオート・リクシャー)は、相乗りの固定料金制で運営されており、その多くが安い交通手段として利用できます。

観光ツアー

●午前のツアー ●

午前のツアーは、ツーリスト・バンガローとインド政府観光局バラナシ事務所から出発します。ツアーは6時に出発し、ガートに沿ってガンジス河を下り、いろいろな寺院の周りを通って大学に向かいます。終了時間は午後12時15分です。料金は1人60ルピー。

●午後のツアー ●

午後のツアーは、モールのインド政府観光局から出発します。ツアーは2時に出発し、サルナートに向かいます。電話：2343744。料金は1人50ルピー。

夏の間は、全てのツアーの出発時間が30分早まります。ツアーを無条件にお勧めするわけではありません。ツアーではなく、個人で観光する方を好む旅行者も沢山います。ガートから昇る太陽を見るには、簡単にボートを借りられます。リクシャー係は、日の出前に出発するガンジス河の船旅の予約を取り付けるのに懸命です。リクシャーには、ダサヴァメードのような大きなガートに連れて行ってもらって下さい。そうすれば、沢山のボートの中から好きなものを選ぶことができます。

宿泊施設

バラナシの高級ホテルのほとんどは、北のカントンメントやサダル・バザール等の商業地区のような周辺部にあります。喧騒から離れたところに滞在することは、確かに安眠確保に適していますが、町の雰囲気や神秘を十分に経験するには、ガートとヴィシュワナータの路地の近くに滞在する必要があります。小さなロジは、低予算の旅行者に最適です。

デラックスホテル <※市外局番：0542->

●Hotel Hindustan International : C21/3 Maldahiya

電話：2351484 ファクス：2350931

●Hotel Taj Ganges : Nadesar Palace Grounds

電話：2345100-118 ファクス：2502724

●Clark's Varanasi : The Mall

電話：2348501-10 ファクス：2502736

●Clarks Tower : The Mall

電話：2348250-51 ファクス：2348685

ヘリテージホテル <※市外局番：0542->

●Hotel Pallavi International : Hathwa Place, Chetganj

電話：2356939-42 ファクス：2392943

スタンダードホテル <※市外局番：0542->

●ITDC Varanasi Ashok : The Mall

電話：2346020-24 ファクス：2348089

●Hotel India : 59 Patel Nagar

電話：2507593-97 ファクス：2507598

●Hotel Malti : Vidyapeeth Road

電話：2356844、2351395 ファクス：2322161

●Hotel de-Paris : The Mall

電話：2346601-8 ファクス：2348520

●Best Western Kashika : The Mall

電話：2348091-92

その他の宿泊施設

●Railway Retiring Rooms : Varanasi Cantt. Railway Station 電話：131、135

●U.P.T.D.C. Tourist Bungalow : Parade Kothi, Cantt. 電話：2343413

●U.P.T.D.C. Tourist Bungalow : Sarnath

その他

ショッピング

有名なバラナシシルクのサリーや錦織、テープ、よく吟味された装飾用壁掛け布、カーペット、木製・粘土製おもちゃ、ガラスのビーズ、バングル等。主なショッピングエリアは、チョウク、ゴドヴィリア、ヴィシュワナート・レーン、ギャンワピ、タテリ・バザール等。シグラのハンドルーム・ハウスは買い物で訪れる価値があります。

銀行・両替商

外貨を扱う銀行は3行あります。

●State Bank of India : Overseas Branch, Varanasi Cantt. 電話：2348341

●Bank of Baroda : Godowlia 電話：2321471

●Andhra Bank : Godowlia 電話：2323245-46

郵便電報局

ビシュウエシュワルガンジとカントンメントには中央郵便局と電報局が、ホテル・クラークスとババトプール空港には郵便局があります。

外国人登録事務所

Srinagar Colony, Siddgiri Bagh, Sgra 電話：2351968

観光情報センター

●Indiatourism, Varanasi : 15B The Mall, Cantt. (Hotel de-ParisとHotel Clarksの近く。) 電話：2343744 (月曜～土曜、9時～17時30分)

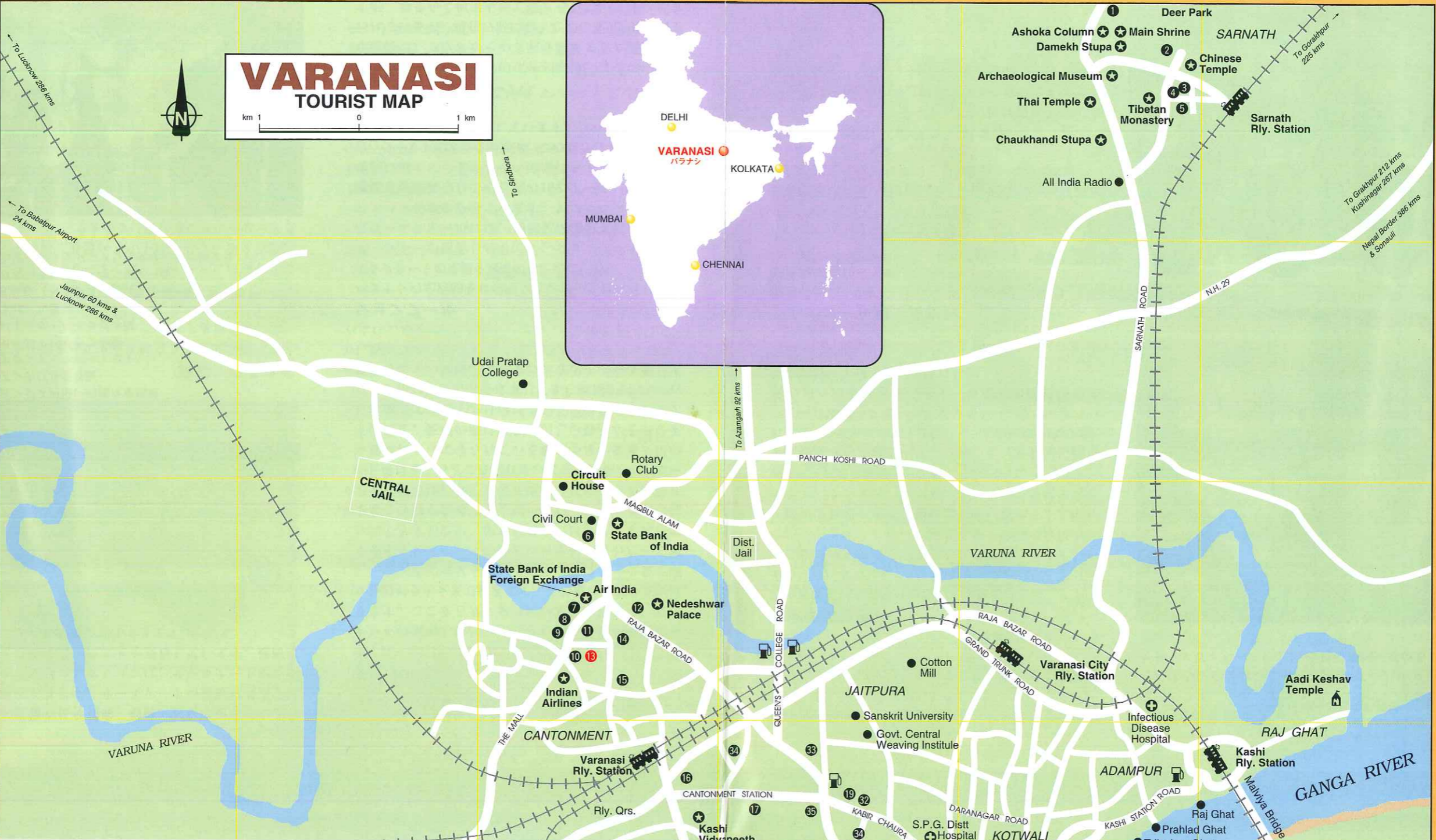
●Indiatourism Counter : Babatpur Airport 電話：2343472 (発着便がある間営業)

●UP Government Tourist Office : Tourist Bungalow, Parade Kothi (Varanasi Cantt. 鉄道駅の近く) 電話：2341162

●UP Government Tourist Information Counter : 鉄道駅近く 電話：2346370

VARANASI TOURIST MAP

km 1 0 1 km



1

2

3

1

2

3



LEGEND

- Hospital
- Petrol Pump
- Places of Worships
- Railway Station
- Places of Tourist Interest
- Other Places
- Roads
- Railways
- River

REFERENCES

HOTELS		BANKS	
Hotel Varanasi Ashok	9 C3	State Bank of India (City Office)	26 E4
Hotel Hindustan International	17 D4	Punjab National Bank	23 E4
Hotel Taj Ganges	12 C3	MISCELLANEOUS	
Hotel Clark's	8 C3	Mansingh Observatory	27 E5
Hotel Ideal Tops	7 C3	Post & Telegraphic Office	14 C3
Hotel de-Paris	10 C3	General Post Office	21 E4
Hotel Pradeep	19 D4	Kotwali Police Station	20 E4
Paying Guest Accommodation	36 D4	Women's Hospital	32 D4
Tourist Office/Bungalow (Sarnath)	4 E1	Govt. Central Weaving Institute	33 D4
TOURIST INFORMATION OFFICES		Bus Stand	34 D4
Indiatourism Office	13 C3	Faculty of Performing Arts	35 D7
Govt. of U.P. Tourist Office/		All India Radio	37 C5
Tourist Bungalow	16 C4	Handloom House	38 C4
PLACES OF WORSHIP		Banaras Club	6 C3
Bharat Mata Mandir	18 C4		
Vishwanath Lane and Temple,	24 E4		
Sakshi & Dhundraj Vinayak	31 D6		
Mata Anandmayee Ashram	2 E1		
Mulgandh Kutti Vihar (Sarnath)	3 E1		
Sarangnath Temple (Sarnath)	1 E1		
Burmese Monastery (Sarnath)	5 E1		
Japanese Temple (Sarnath)	28 D5		
Godaulia	25 E5		
Nepali Temple (Mini Khajuraho)	22 E4		
Gyanvapti Mosque	22 E4		
Alamgir Mosque	22 E4		
Aurangzeb Mosque	30 D5		
St. Mary's Cathedral Church	15 C3		
St. Marry's Protestant Church	11 C3		
Church	29 D5		

A

B

C

D

E

F